

令和5年度当初予算(案)がまとまりました



明日につなげ 未来を描く
「みんなの暮らし 応援予算」



一般会計予算(案)
2372億5000万円

令和5年度当初予算(案)の一般会計の予算規模は、2372億5000万円で、4年度予算に比べ、75億円(3.2%)の増となりました。一般会計と特別会計を合わせた予算総額は、3541億4200万円となっています。

予算編成の考え方

新型コロナウイルス感染症や物価高騰は、日常生活・社会経済活動に大きな影響を及ぼしています。

区は、区民の安心・安全を最優先に、区民の生活を支え、地域経済の活性化を図る対策を進めます。さらに、令和5年度は「いたばしNo.1 実現プラン2025」の改訂、次の基本計画の策定に向けた調査・検討を開始する重要な年であり、重点戦略のさらなる展開で計画を着実に実現します。

また、「ゼロカーボンシティ」「SDGs 未来都市」などの取組を推進し、未

来志向の持続可能なまちづくりをめざします。

そのために、社会情勢・財政状況を的確に認識し、ウィズコロナにおける区政運営を見据えて創意工夫を重ね、行政サービスの質を維持・向上できるよう予算編成を行いました。

※本予算(案)は、令和5年第1回区議会定例会で審議されます。編成過程など詳しくは、区ホームページをご覧ください。



令和5年度当初予算(案)概要

区分	令和5年度	令和4年度	伸び率	
一般会計	2372億5000万円	2297億9000万円	3.2%	
特別会計	国民健康保険事業	558億3000万円	558億9000万円	△0.1%
	介護保険事業	463億7300万円	452億700万円	2.6%
	後期高齢者医療事業	142億4900万円	135億900万円	5.5%
	東武東上線連続立体化事業	4億4000万円	1億5000万円	193.3%
合計	3541億4200万円	3445億4600万円	2.8%	

※伸び率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

不合理な税制改正に対する区の見解

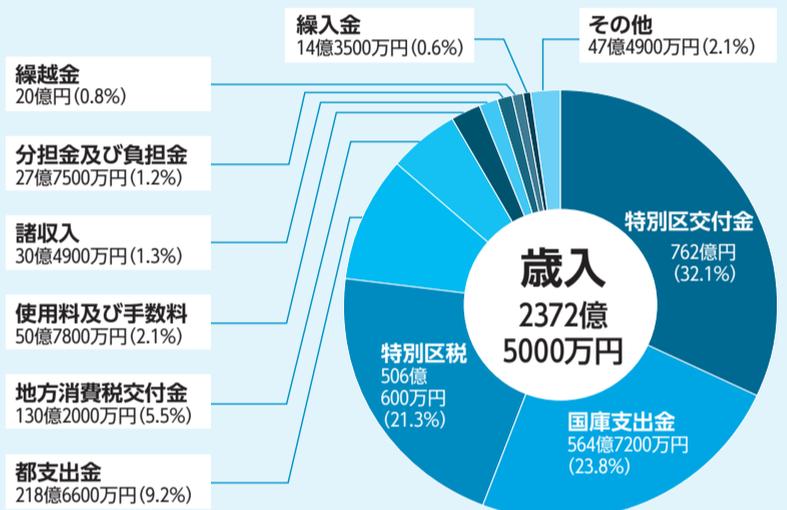
国は、「地方創生の推進」「税源偏在是正」の名のもと、法人住民税の一部国税化、地方消費税の清算基準の見直し、ふるさと納税などの不合理な税制改正により、区の貴重な税源を一方的に奪っています。

また、新型コロナウイルス感染症対策や中小企業・医療機関への

支援策、生活保護費などの負担は続いており、さらに、物価高騰の影響も重なり、区の財政は極めて深刻な影響を受けています。

区では、都・特別区長会と連携し、地方固有の財源を不当に奪う税制改正の方向性を改め、国の責任で地方税財源の拡充を図るよう、引き続き強く要望していきます。

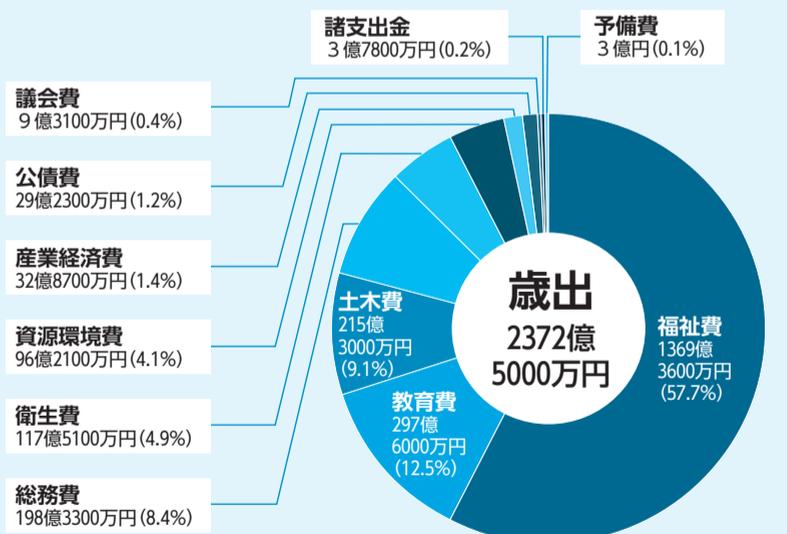
歳入(一般会計)



歳入予算の特徴

- 特別区交付金は、固定資産税を含む調整税などの増により、50億円の増収を見込んでいます
- 特別区税は、1人あたりの所得額の増などにより、26億円の増収を見込んでいます
- 繰入金は、志村六小長寿命化改修などに充てるため、各基金から14億円繰り入れましたが、令和4年度から14億円の減額となりました

歳出(一般会計)



歳出予算の特徴

- 福祉費は、施設介護給付などの自立支援給付経費の増などにより、38億円の増額となりました
- 教育費は、志村六小長寿命化改修の実施などにより、29億円の増額となりました
- 土木費は、大山駅周辺地区などの再開発事業の進捗などにより、17億円の増額となりました
- 衛生費は、新型コロナウイルスワクチン接種の継続未定などにより、14億円の減額となりました

問合せ 財政課 ☎3579-2030

主な事業は2面をご覧ください